

笑ってごらん

第 634 号 H. 30. 9. 29 発行

～今日の格言～ 『笑』は自分の外見を綺麗にしてくれるもので、『涙』は自分の内面を綺麗にしてくれるもので、『怒』は自分の本当の気持ちを教えてくれるもので、『悲』は自分をもっと強くさせてくれるもの。



22日(日)は地元の祭り『南さつまフェスタ』が開催された。以前、全体朝礼でも話したが、秋に行われる「祭り」は作物の豊作や商売の繁盛などを祈願するものが多い。

この『南さつまフェスタ』、以前は『かせだまつり』と称していたが、市町村合併により南さつま市が誕生したため、規模を拡大して行うようになったものである。

今回も多くの本校生が参加協力してくれた。「大神輿パレード」は市内3校の生徒たちが大神輿を担いで練り歩き、恵比寿神社前で神事が行われ、皆で祈りを捧げた。「音楽隊パレード」には吹奏楽部が参加し、素晴らしい演奏を聴かせてくれた。

「ふるさと総踊り」には2年生女子および体操部が参加し、これまで練習を重ねてきた踊りを披露した。

沿道から、または、すれ違う踊り連から、本校生に向けたたくさんの激励の声かけをいただき、大変励みになったことと思う。

私も総踊りの隊列の最後尾に陣取り踊った。腰

痛持ちゆえ今回はコルセット装着で臨んだところ、殊の外調子よく、途中離脱することなく最後まで踊りきることができた。(ただし、翌日、翌々日は腰が悲鳴をあげていた…)

田舎の祭りとはいえ、今回参加した生徒たちはとてもいい経験をしたことと思う。

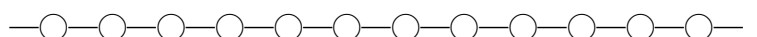
大人になれば、様々なイベントの企画側の仕事を担当することもあるだろう。そのような時、今回の経験を参考にしてもらえたら幸いである。



23日(月)、ふれあいかせだいにしへホールで本校吹奏楽部・合唱部の定期演奏会が行われた。

部員のご家族や近隣住民の方々にも多数お越しいただき、にぎやかな中で日頃の練習の成果を元気よく発表することが出来たと思う。

来場くださったお客様からは異口同音に「大変素晴らしかった」とお褒めの言葉をいただき、私も嬉しかった。



28日(金)、開聞中学校1年生が学校見学のため来校。学校紹介DVD視聴の後、看護実習体験として無菌操作と赤ちゃんの着替えに挑戦。

いままでやったことがない生徒も多く四苦八苦していたが、皆笑顔いっぱい楽しく取り組んでいた。

本日午後、鹿児島市の城山ホテル鹿児島において『鹿児島県私学振興大会』が行われる。
「子どもたちの明るい未来のために」と副題がつけられた同大会。多くの国会議員や県議会議員、ならびに県内の私立中学・高等学校教職員・保護者の出席を得て、大会決議ならびに優秀教職員・生徒表彰、生徒発表、記念合唱が行われる。
「私学もこんなに頑張ってるんだぞ」と力強くアピールする場であることは言うまでもない。
本校も、部活動をはじめ様々な活動で優秀な成績を挙げている。嬉しい限りである。今後も引き続き尽力し、可能性を広げて欲しい。